

(9) 総合的な学習研究会

会長 村上 克仁 (中村南小学校)
副会長 森 和也 (東中筋中学校)
事務局 前田 美由紀 (中村中学校)

1. 研究主題 「探究的な学びを実現する総合的な学習の時間の進め方」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和2年 8月19日(水)	総合的な学習の時間の成果と課題	中村中学校	15名参加

3. 令和元年度四万十市教育研究大会

今年度、8月の夏季研修会においては、総合的な学習の時間の計画や実践を持ち寄り、各学校の授業が「探究的な学び」になっているかを検討した。また、これからどうすれば探究的なものになるのか、指導計画や単元計画など小谷野指導主事から助言を頂きながら取り組むことで、「総合的な学習の時間」をどういった流れで作っていくか、「主体的に生徒が探究したいと思える授業とは」など実践例を基に、学習を進めることができた。

4. 今年度の成果と課題

【成果】感想より

- ・総合の時間に、「どういう意図を教師側が持って行っていくか」を明確にしていくことが大切であると感じた。生徒が行った結果を生徒が実感できるような仕組みを考えていけるように教材研究をしていきたい。
- ・生徒が主体的・探究的に学びを深めるためには、教師の教材研究や意図的な働きかけが必要である。教科書がないからこそ、総合に対する教師の意識的な価値づけについて考えていきたい。
- ・基礎・基本を学び、小・中学校の段階に応じた「疑問」持たせたり、課題や場面を設定させるために、教師が（人、もの、こと）を知っていつかということでも、随分違ってくることが分かった。学校のなかで、総合的に学習できる勉強会（校内研）が必要と感じた。
- ・探究的な学びを実現するためには、総合の時間に互いが意見を素直に言い合えるような雰囲気づくりをしていく必要があると感じた。
- ・各教科の指導とも重なるので、2学期以降、総合や各教科の授業にも生かしていきたいと思った。実践授業の動画もあり、理論と授業の具体的な実践が繋がってイメージを持つことができた。教材研究と各教科の普段の学びができる授業改善をしていきたい。

【課題】

- ・生徒の興味・関心を引き出すに至っていないことが多く、教師側の準備や計画に偏りがちである。
- ・単元計画の見直しや授業計画など総合担当の教員だけが考えていることが多い。
- ・各学校の実践例から共通の課題（例えば生徒の主体性など）に対してどう取り組んで行く必要があるか、具体的な内容（授業も含む）に落とし込めていない。

5. 来年度へ向けて

- ・来年度も各学校や全国の実践を共有し、その内容を協議できる場とするとともに、共通の課題をどのように改善していくか具体的に進められるような会にしたい。
- ・各学校の「総合的な学習の時間」担当が集まり、カリキュラムの見直しなどさらに、学校規模に応じた取り組みを協議する時間を持てるようにする。